

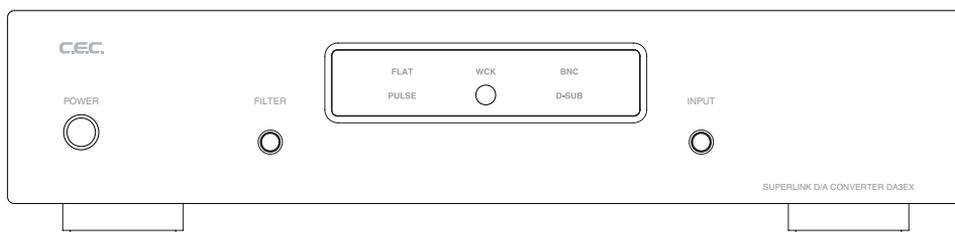
D/A CONVERTER

SuperLink DA3EX

取扱説明書

この度は、CEC SuperLink D/Aコンバーター DA3EXをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の特徴を正しくご理解いただき、末永く安全にお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

外装箱や梱包材は再輸送の際に必要です。保証書や取扱説明書と同様に大切に保管してください。



CEC

| | |
|-------------------------|----|
| 本機の特徴 | 2 |
| 安全上のご注意 | 3 |
| 使用上のご注意 | 5 |
| 付属品 | 6 |
| 主な仕様 | 6 |
| リアパネルの機能と接続 | 7 |
| フロントパネルの機能 | 8 |
| リモートコントロールユニット | 9 |
| SUPERLINKとは？ | 10 |
| デジタルフィルター | 10 |
| ディマー (ディスプレイの明るさを切り替える) | 11 |
| 基本的な操作方法 | 11 |
| お手入れの仕方 | 12 |
| 故障かな？と思ったら | 13 |
| 保証とアフターサービス | 13 |

- DA3EX は、CEC 独自のデジタル伝送方式である SUPERLINK 専用の D/A コンバーターです。SUPERLINK 接続用として D-SUB-9 端子を備える初代の対応モデルから、BNC x 4 端子を備えた最新のモデルまで、全ての SUPERLINK 機能を搭載した CDトランスポートと CD プレーヤーに適応します。
- SUPERLINK 接続に不要な機能の全てを排除することで、純粋に特化した最短で最適な回路を構築することが可能となり、歴代の対応 DAC を凌ぐ高音質を実現しています。
- デジタルからアナログ信号への変換には、ESS 社のフラッグシップモデル SABRE PRO シリーズより、32bit 対応ハイパス トリウム DAC ES9028PRO を採用。高次元のダイナミックレンジと高調波歪み率を確保することで、ステージの広がりのみならず奥行きや空気感もリアルに再現します。
デジタルフィルターは、周波数特性の優れたフラットと、リングングを抑え高域での自然な減衰特性をもつパルス切り替えが可能です。
- SUPERLINK 用 BNC-BCK 端子は、SPDIF (COAXIAL) 入力モードに切り替えることができます。TL3 3.0 がアップサンプリングする信号 (88.2kHz と 176.4kHz) も入力可能です。

製品を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全にお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。記号の意味をよくご理解の上、本文をお読みください。

記号の意味



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、ケガをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性があります。

注意を促す記号



一般的な注意



感電注意

してはいけない行為(禁止行為)を示す記号



禁止



分解禁止

必ずしてほしい行為(強制、指示行為)を示す記号



電源プラグをコンセントから抜く



一般的な強制



警告!

万一、次のような異常が起きたら ...

- ・煙が出たり、変なおいや音ができる。
- ・機器の内部に異物や水が入った。
- ・落としたり、キャビネットを破損した。

すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。販売店または当社サービスセンターに修理をご依頼ください。



- ・電源ケーブルを傷つけない。
- ・電源ケーブルの上に重いものをのせたり、ケーブルを本機の下敷きしない。
- ・電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。

ケーブルが破損すると、火災、感電の原因となります。万一、電源ケーブルが傷んだら（心線の露出、断線など）、販売店または当社サービスセンターに交換をご依頼ください。



- ・電源プラグにほこりをためない。
- 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災、感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。

- ・機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない。

内部に水が入ると、火災、感電の原因となります。



警告！



- ・表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。



- ・この機器のカバーは絶対に外さない。

カバーを開けたり改造すると、火災、感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店または当社サービスセンターにご相談ください。



- ・この機器のカバーを開けたり、内部に手を入れない。

この表示部分に手を近づけたり触れたりすると、感電やけがの原因となります。



注意！



- ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
- ・湿気やほこりの多い場所に置かない。
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたる場所に置かない。

火災、感電やけがの原因となることがあります。

- ・電源コードを熱器具に近づけない。

コードの被ふくが溶けて、火災、感電の原因となります。

- ・電源プラグは、異常が発生した時にすぐに抜けるような場所にあるコンセントに差し込む。

- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

- ・電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。

コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- ・旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。



- ・お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜く。

感電の原因となることがあります。

- ・移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

① 電源電圧はAC100V

本機は、定格電圧100Vでご使用ください。

② 他の機器と接続するとき

他の機器と接続するとき、または接続を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

③ 本機の電源を入れるとき、切るとき

- 電源を入れるときは、本機の電源を先に入れてからアンプの電源を入れてください。
- 電源を切るときは、アンプの電源を切ってから本機の電源を切るようにしてください。

本機の電源を入れたり切ったりするときに発生する微小ノイズがアンプで増幅されて、突然大きな音が発生する可能性があります。ご注意ください。

④ 取り扱いがていねいに

スイッチやツマミ、キャビネットなどに無理な力を加えることは避けてください。

⑤ 設置場所について

次のような場所で長時間ご使用になりますと、音質の悪化や故障などの原因となります。ご注意ください。

- 窓際など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度35℃以上)、または温度の特に低い場所(周囲温度10℃以下)では、製品の正常な機能を維持できない場合がありますので避けてください。
- 湿度の多い場所(湿度90%以上)では金属部分にサビが生じたり故障の原因となります。
- ほこりの多い場所はスイッチなどの接触不良や雑音等の発生原因になり、性能を損なうことがあります。
- その他、トランスやモーターの近くの設置は誘導ハムを拾う原因となりますので、離して設置してください。また、振動の多い場所も避けてください。

音質や性能を最大限に発揮させるためにも、オーディオ専用ラックを使用されることをお奨めいたします。

⑥ 水に濡れたら

万一雨が降ったり、花びんなどの水を本機にこぼしたときは、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。この状態で電源を入れた場合、感電の恐れもあり危険です。また故障の原因となりますのでご注意ください。

⑦ 落雷に対する注意

落雷の恐れのあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜いてください。

⑧ 結露現象について

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、

本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると結露が生じ、製品の性能が十分引き出せなくなることがあります。

このような場合は、結露の程度にもよりますが、1～2時間そのまま放置し、本機を室温に保つようにしてください。結露は徐々になくなります。

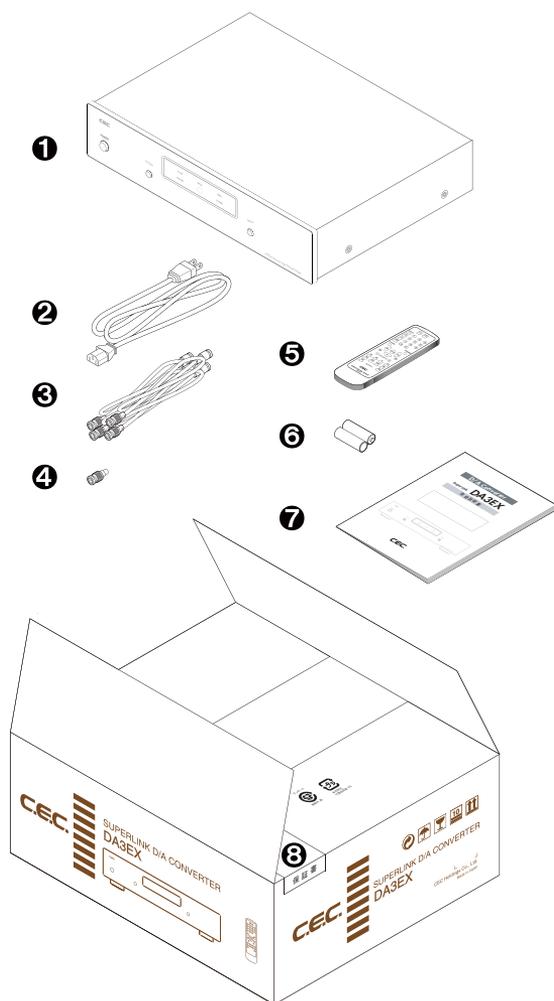
⑨ 演奏を聴くエチケット

音楽を聴くときは、音量を上げ過ぎないように十分注意しましょう。他の人や近隣の迷惑にならないように気を配り、お互いの快い生活環境を乱さないよう気を付けましょう。

付属品

DA3EXの外装箱の中には、次のものが入っています。最初にご確認ください。

- ① DA3EX 本体
- ② 電源ケーブル
- ③ BNCケーブル4本
- ④ BNC-RCA変換プラグ
- ⑤ リモコン
- ⑥ 単4形乾電池2本(リモコン用)
- ⑦ 取扱説明書
- ⑧ 保証書(外装箱に添付)



- 外装箱や梱包材は再輸送の際に必要です。保証書や取扱説明書と同様に大切に保管してください。
- 付属の電源ケーブルは本機専用です。他の機器には使用しないでください。

主な仕様

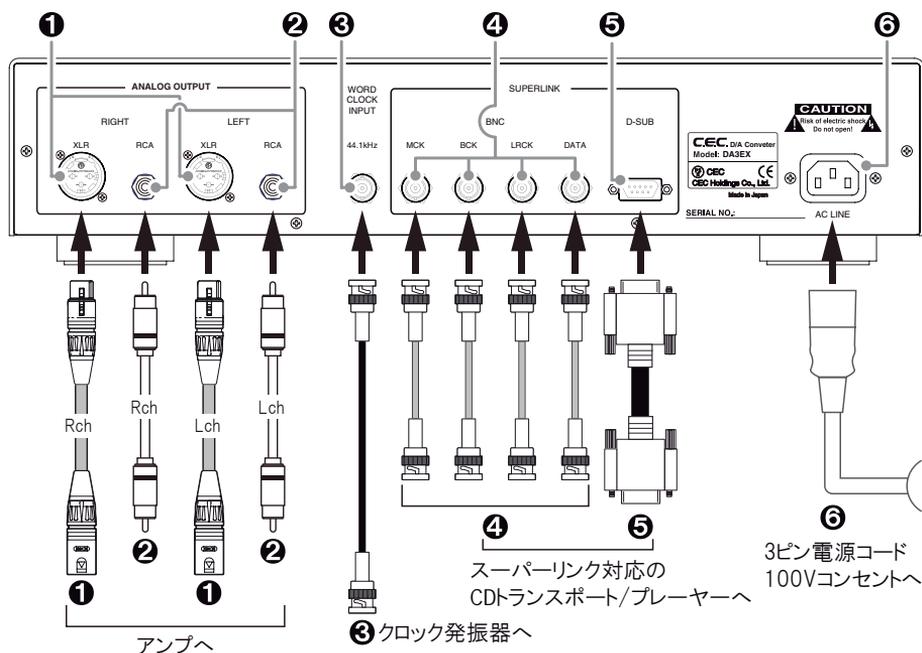
| | |
|----------------|--|
| マスタークロック出力 | D-SUB-9 (9): 16.9344MHz |
| | BNC (MCK): 16.9344MHz |
| ワードクロック入力 | BNC: 44.1kHz (マスタークロック出力に使用) |
| スーパーリンク入力 | D-SUB-9 (2:BCK, 4:LRCK, 6:DATA): 44.1kHz |
| | BNC x 3 (BCK, LRCK, DATA): 44.1kHz |
| SPDIF(COAX) 入力 | BNC x 1 (BCK 端子兼用 / 切替式) |
| DAC | ESS ES9028PRO x 1 |
| デジタルフィルター | FLAT / PULSE 切替え |
| アナログ出力 | バランス型XLR(2番ホット) x 1: 4Vrms |
| | アンバランス型RCA x 1: 2Vrms |
| 周波数特性 | 20Hz~20kHz±0dB (CD再生, FLATフィルター時) |
| S/N比 | 105dB, 1kHz/0dB |
| クロストーク | 105dB, 1kHz/0dB |
| THD | 0.003%, 1kHz/0dB |
| 電源 | AC100V, 50/60Hz |
| 消費電力 | 10W |
| 外形寸法 | 約435(W) x 335(D) x 103(H)mm (ボタン、端子、レッグ含む) |
| 質量 | 約8.2 kg |
| 付属品 | 電源コード、BNCケーブル4本、 BNC-RCA変換プラグ、リモコン RU-219、単4形乾電池2本、取扱説明書、保証書 |
| 外観色 | シルバー / ブラック |

2021年4月現在の接続方法別スーパーリンク対応機種

| | |
|----------|--|
| BNC (4本) | TL0 3.0, TL1N, TL3 3.0, TL3N |
| D-SUB-9 | TL2XMKII, TL51, TL51Z, TL51ZMKII, TL51X, TL51XZ, TL51XR |

- 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 製品の改善により、取扱説明書のイラストなどが一部製品と異なることがあります。

リアパネルの機能と接続



アナログ出力

① XLR(バランス)

バランス型 XLR 出力端子 (1=GND, 2=Hot, 3=Cold) です。バランス型入力端子を備えたアンプと XLR3 ピン - ラインケーブルを使用して接続します。バランス回路設計された本機の性能を十分に引き出すには、バランス型接続のご使用をお勧めします。

② RCA(アンバランス)

標準的なアンバランス型 RCA 出力端子です。RCA ケーブルを使用してアンプと接続します。

ワードクロック入力

③ WORD CLOCK INPUT 44.1kHz

外部のクロック発振器から出力される 44.1kHz のワードクロックを入力する端子です。75Ω の BNC ケーブルをご使用ください。外部のワードクロックと同期 (を入力) しているとき、ディスプレイの "WCK" が点灯します。このクロックを基準に生成されたマスタークロック (MCK=16.9344MHz) がスーパーリンク接続を通して CD トランスポート/プレーヤーに供給されます。

SUPERLINK(スーパーリンク)

スーパーリンクの接続方法は2通りです。対応する CD トランスポート/プレーヤーが備えている端子によって異なり、付属の BNC ケーブル 4 本、または別売の D-SUB-9 ピンケーブルを使用します。

④ BNC (MCK, BCK, LRCK, DATA)

分離した 4 種類の信号を伝送する独自規格のクロック出力 (MCK) とデジタル入力 (BCK, LRCK, DATA) の端子です。付属の BNC ケーブル (75Ω) 4 本を使用して、対応する CD トランスポート側の同記号の端子と接続します。

スーパーリンクの詳細は、10 ページの「SUPERLINK とは？」の項目を参照ください。

⑤ D-SUB

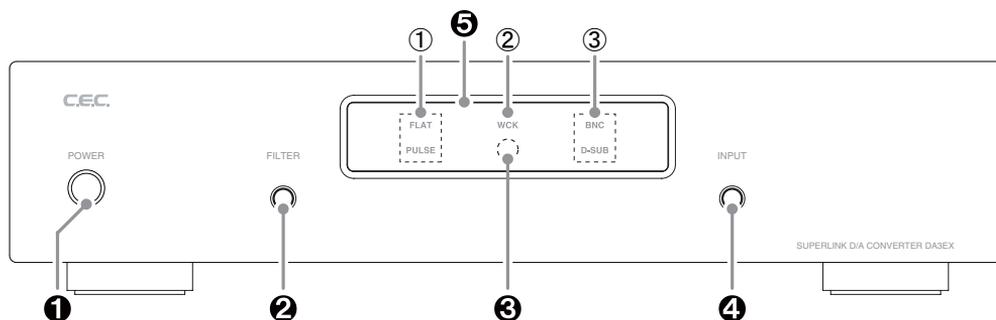
分離した 4 種類の信号 (MCK, BCK, LRCK, DATA) を伝送する独自規格のクロック出力とデジタル入力を兼ね備えた端子です。別売の D-SUB-9 ピンケーブル (75Ω) を使用して、対応する CD トランスポート/プレーヤーと接続します。

スーパーリンクの詳細は、10 ページの「SUPERLINK とは？」の項目を参照ください。

電源入力

⑥ AC LINE

付属の電源コードを接続し、ご家庭のコンセント (100V) に接続します。



①POWER ボタン

電源スイッチです。押すと本機に電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

電源を入れると、⑤ディスプレイが点滅します。約5秒後、点滅から点灯へ変わり、①デジタルフィルターの“FLAT”または“PULSE”、②ワードクロック入力がある場合には“WCK”が、また③入出力端子“BNC”または“D-SUB”が点灯すると、起動が完了し操作できる状態です。

②FILTER ボタン

押すたびに、デジタルフィルターのフラット“FLAT”またはパルス“PULSE”に切り替わり、対応する⑤ディスプレイの①デジタルフィルターインジケータが点灯します。

選択したフィルターは、電源を入れ直しても記憶されています。

デジタルフィルターの詳細は、10ページを参照ください。

③リモート センサー

リモコンからの信号を受けるセンサーです。操作するときには、リモコンをセンサーの方向に向けます。リモコンとセンサーの間に障害物があると、リモコンが機能しないことがあります。ご注意ください。

④INPUT ボタン

押すたびに、スーパーリンク接続端子の“BNC”または“D-SUB”に切り替わり、対応する⑤ディスプレイの③スーパーリンク端子インジケータが点灯します。選択した端子から入力するデジタル信号はD/A変換されて、アナログ出力端子(XLRまたはRCA)より出力されます。

選択した入力端子は、電源を入れ直しても記憶されています。

⑤ディスプレイ

①デジタルフィルター インジケータ

選択するデジタルフィルターのフラット“FLAT”またはパルス“PULSE”が点灯します。切り替えは、本体の②FILTERボタン、またはリモコンのD.FILTERボタンで行います。

②ワードクロック インジケータ

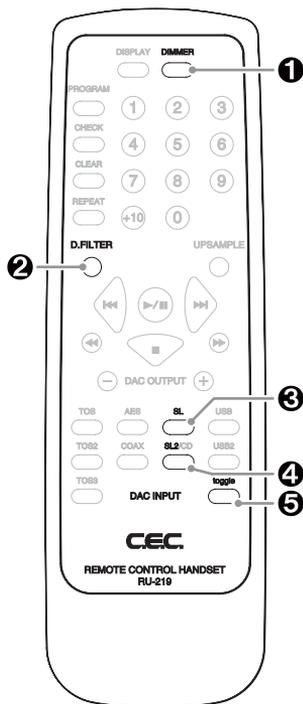
外部のクロック発振器から出力される44.1kHzのワードクロックと同期(を入力)しているときに“WCK”が点灯します。

③スーパーリンク端子 インジケータ

選択するスーパーリンク接続端子の“BNC”または“D-SUB”が点灯します。切り替えは、本体の④INPUTボタン、またはリモコンのSLボタン(=BNC端子)、またはSL2(=D-SUB端子)で行います。

ボタンの機能

①～⑤までのボタンは本機で機能し、その他のボタンはCDトランスポートTL3 3.0やTL5、CDプレーヤーCD5、D/AコンバーターDA5などを操作できます。ここでは本機を操作するボタンだけを説明します。



① DIMMER ボタン

ディスプレイの明るさを3段階(消灯⇒暗い⇒明るい)に切り替えます。ディマーの説明は、11ページを参照ください。

② D.FILTER ボタン

デジタルフィルターのFLAT、またはPULSEを選択します。デジタルフィルターの説明は、10ページを参照ください。

③ SL (SuperLink) ボタン

BNCケーブル4本を接続しているSUPERLINK用BNC端子を選択します。

④ SL2 (SuperLink2) ボタン

SUPERLINK用D-SUB端子を選択します。

⑤ toggle ボタン

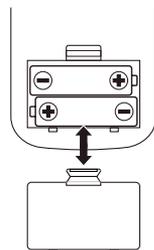
押すたびにSUPERLINK用端子のBNCとD-SUBが切り替わります。

リモコンの使用上の注意

- リモコンを操作するとき、リモコン送信機を本機のリモートセンサー部に向けてください。
- リモコンを操作するとき、送信機と本機との間に障害物があると正しく動作しません。
- フロントパネルのリモートセンサー部分に直射日光を当てないでください。誤動作の原因となることがあります。
- 電池が消耗するとリモコンは正しく動作しません。この場合は同じタイプの新しい電池と交換してください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの＋と－表示に合わせて乾電池(単4形)2本を入れてください。



電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

電池の取り扱い

- 乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。
- 乾電池の＋と－の向きを電池ケースに表示されている通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、またはアルカリ乾電池とマンガン乾電池など種類の違う電池を混ぜてご使用にならないでください。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長期間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、液もれによってリモコンが破損することがないように、電池を取り出しておいてください。
- 万が一液もれを起こしたときは、ケース内に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と交換してください。

音楽信号とクロックなどの同期信号を独立したケーブルで伝送する独自の同期型デジタル伝送方式です。

一般的な同軸デジタル出力や光出力などに使われているSPDIF(Sony Philips Digital InterFace)やAES/EBU(Audio Engineering Society/European Broadcasting Union)などの伝送方式は、オーディオデータと制御のためのクロック信号を1本のケーブルで伝送するため、原理的に信号同士の干渉から生じるジッタの発生を免れることができません。

スーパーリンクは、SPDIF方式などのエンコード/デコードを経由することなくオーディオデータとクロックデータを分離して伝送。D/Aコンバーター側のマスタークロック・ジェネレーターから送出されるクロックを利用して信号を完全に同期させ、伝送に伴う音質劣化を最小限にとどめます。

各系路は次のような信号を送出 / 受信しています。

MCK(マスタークロック):

この系路を通じてD/Aコンバーターからマスタークロックが送られてきます。マスタークロックを受け取るとCDトランスポートはD/Aコンバーターのスレーヴとして働くようになり、D/Aコンバーターとの間で完全に同期したオーディオデータの伝送が可能になります。

BCK(ビットクロック):

CDトランスポートからD/Aコンバーターへ、デジタルデータのビットの識別に必要なビットクロックを送信します。

LRCK(L/Rクロック):

CDトランスポートから左右の信号を識別するL/Rクロック(ワードクロック)を送信します。

DATA(データ):

CDトランスポートからD/Aコンバーターにオーディオ信号を送信します。

重要:

D/Aコンバーターの入力を切り替えると、使用するマスタークロックの供給ラインも切り替わるため、CDトランスポート/プレーヤーはディスク情報を読み直します。このとき、設定していたプログラム再生やリピート再生、ディーマーなどの設定は取り消されますので、再設定が必要です。

本機は、デジタルフィルターの特性を切り替えて、再生音楽に適した設定を行うことができます。本体のFILTERまたはリモコンのD.FILTERボタンを押して切り替えます。



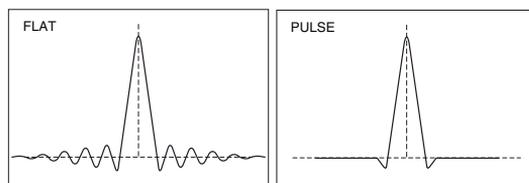
デジタルフィルターを切り替える時に、スピーカーやヘッドフォンからポップノイズが発生することがありますので、切り替えは音量を下げてから行うことをお勧めします。

備考: ディーマー機能により表示を“消灯”しているときにFILTERボタンを一度押すと、デジタルフィルターの設定はそのまま、表示の明るさがデフォルトの“明るい”に戻ります。デジタルフィルターを切り替えるには、もう一度FILTERボタンを押してください。

FLATは、一般的なD/Aコンバーターでよく用いられるフィルターで、CD再生の場合、通過帯域(20Hz～20kHz)で周波数特性がフラットであり、20kHz以上の信号を直線的にカットするため、帯域外の余分な信号(ノイズ)を強力的に抑えることができます。

PULSEは、周波数帯域で異なる伝達速度(位相特性)を同じにすることで、リングング※を抑えCD再生の場合、20kHz近辺で徐々に減衰する周波数特性を持っています。そのため、再生音はFLATフィルターに比べて、より自然に聞こえます。

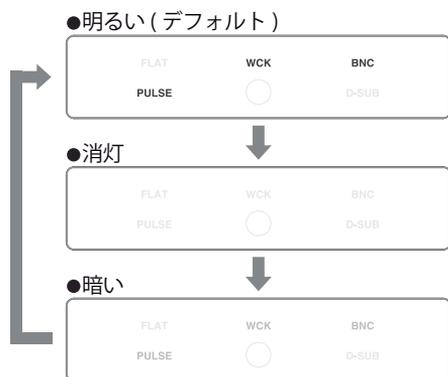
※FLAT/PULSEのリングングの違い



デジタル信号が回路を通過したときに生じる波打った波形

ディマー（ディスプレイの明るさを切り替える）

ディスプレイの文字の明るさを3段階に切り替えることができます。リモコンのDIMMERボタンを押すたびに、下図の順に明るさが切り替わります。



ディスプレイを“消灯”しているとき

ディスプレイを“消灯”しているとき、入力やデジタルフィルターの切り替えで本体やリモコンの操作ボタンを一度押すと、ディスプレイは“明るい”に戻り、これらの機能は現在設定のまま表示されます。

設定を変更するには続けて操作ボタンを押してください。

操作ボタンを押さずに約5秒が経過すると、ディスプレイは自動で“消灯”に戻ります。

□設定した明るさに関わらず、電源を入れ直すと、自動的にデフォルトの“明るい”に戻ります。

基本的な操作方法

SUPERLINKで聴く

- ① 本機の電源を入れます。ディスプレイに現在の設定が表示されます。
- ② 本機のINPUTボタンまたはリモコンのSL/SL2/toggleボタンを押して、スーパーリンク対応のCDトランスポート/プレーヤーを接続している端子 BNCまたはD-SUBを選択します。
 - 本機の入力を切り替えるときは同時にマスタークロック(MCK)の供給ラインも切り替わるため、すでにCDトランスポート/プレーヤーの電源が入りディスクをセットしてある場合には、入力を選択し直すとディスク情報を読み直します。
- ③ CDトランスポート/プレーヤーの電源を入れます。
- ④ ボリュームが下がっていることを確認し、アンプの電源を入れます。
- ⑤ CDトランスポート/プレーヤーにディスクをセットして再生を始めます。アンプのボリュームで音量を調節してください。

SPDIF(COAXIAL)で聴いてみる

SUPERLINK用BNC-BCK端子をSPDIF用COAXIAL入力として使用することができます。

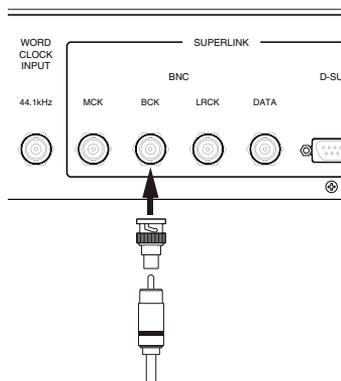
- ① 本機のINPUTボタンまたはリモコンのtoggleボタンを約3秒間長押しします。
 - 押した直後にリレー音とともに入力が切り替わり、約3秒後に2回目のリレー音とともにスーパーリンク端子インジケータ（BNCとD-SUB）が消灯します。これでBNC-BCK端子はSPDIF入力モードに切り替わります。



- SPDIF入力モードでは、ワードクロック入力は無効となり、インジケータは点灯しません。
 - CDトランスポート/プレーヤーがスーパーリンクモードでディスク情報を読み取った状態にあるときは、マスタークロックの供給元が本機以外に切り替わるため、ディスク情報を読み直します。
- ② 75ΩのCOAXIAL(同軸)ケーブルを使ってBNC-BCK端子とCDトランスポート/プレーヤーのCOAXIAL出力端子を接続します。
 - スーパーリンク用BNCケーブルが接続されている場合には、BNC-BCK端子より外してから、SPDIF用ケーブルを接続ください。

基本的な操作方法(つづき)

- RCAケーブルを接続する場合には、付属のBNC-RCA変換プラグをご利用ください。



- SPDIF入力モードで、BNC-BCK以外の端子にスーパーリンク用ケーブルが接続されたままでも支障はありません。

- ③ CDトランスポート/プレーヤーの再生を始め、アンプのボリュームで音量を調節します。

- スーパーリンクモードに戻すときは、スーパーリンク用ケーブルを接続し、本機のINPUTボタンまたはリモコンのSL/SL2/toggleボタンを押して、BNCまたはD-SUBを選択します。

お手入れの仕方

① 日常的なよごれは

必ず柔らかい布でからぶきするようにしてください。からぶきで取れないよごれは薄めた中性洗剤で湿らせた布で拭き取ってください。洗剤をご使用の場合は最後に必ず水で湿らせた布で拭き取って洗剤分が残らないようにしてください。また本機をベンジン、シンナーなどの揮発油系の液体や化学ぞうきんで拭いたり、クレンザーなどや漂白剤をご使用なすることはお避けください。また近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布することは避けてください。

② 定期的な保守・点検

本機の定期的な保守・点検は必要ありません。不具合の際の点検・修理は販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいと思ったときは、サービスをご依頼になる前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または当社サービスまでご連絡ください。

| 症状 | 対処法 |
|--------------|-------------------------|
| 電源が入らない | 電源ケーブルを正しく接続する |
| 音が出ない | 再生機器やアンプと正しく接続し直す |
| | 再生機器を接続した入力端子を選択する |
| | 再生を始める |
| | アンプのボリュームを上げる |
| | 全機器の電源を入れ直す |
| ハム音が出る | ピンプラグをしっかり差し込む |
| 音飛びがする | 振動のない場所へ移動する |
| | ディスクをクリーニングする |
| チューナーにノイズが入る | チューナーから離れた場所に設置するか電源を切る |
| リモコン操作できない | 本体の電源を入れる |
| | リモコンに電池を入れる |
| | 新しい電池と交換する |

本機はマイコンを使用しているため、外部からの雑音やノイズ等によって、誤動作することがあります。

このような場合は、電源スイッチを押して一旦電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、しばらくしてから再び接続し、電源を入れてあらためて操作してください。

保証とアフターサービス

保証について

1. この製品には保証書を別途添付しております。保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認のうえで取扱説明書などと一緒に大切に保管してください。
2. 保証期間はお買い上げ日より2年です。保証期間中は保証書の記載内容により、お買い上げ販売店または弊社が修理いたします。その他詳細につきましては保証書をご参照ください。
3. 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。
4. この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

サービスのご依頼について

万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認し、お買い上げのお店または弊社サービスセンターにご遠慮なくご相談ください。

1. 型名、型番
2. 故障の内容
3. お買い上げ年月日
4. お名前、住所、電話番号



CEC日本総代理店・修理センター：

有限会社エステック

〒370-0535 群馬県邑楽郡大泉町寄木戸287

TEL: 0276-49-5033 営業 marketing@s-tec-co.com

TEL: 0276-49-5036 修理センター service@s-tec-co.com

FAX: 0276-62-8341 共通

<http://www.cec-web.co.jp>